

日本設備工業新聞

発行所
(株)日本設備工業新聞社
東京都渋谷区桜丘町10-13
〒150-0031 野元第1ビル
電話 (03) 3496-4774
FAX (03) 3464-1884
info@setubikogyo.co.jp
(購読料郵税共) 年額8,000円



TOTO
きれいな除菌水のチカラで、
毎回手間なし除菌。
NEOREST
詳細は弊社カタログ、HPをご覧ください。

脱炭素経営を加速

タラノア対話ワークショップ

環境省は九月十日、東京・港区東新橋の電通本社ビル会議室で「脱炭素経営を加速するタラノア対話ワークショップ」を開催した。パリ協定に基づく脱炭素経営に関心のある民間企業を対象に国内外の優良な取り組みを共有し、活発なグループディスカッションを通じて気候変動対策に貢献する企業価値の発掘・向上を促した。十二月に開かれる気候変動枠組条約第二十四回締約国会議(COP24)で日本における経験やビジョンを広くアピールする考えだ。

気候変動対策で企業価値向上

タラノアとはCOP23の議長国であるフィジーの言葉で「包摂的、参加型、透明な対話プロセス」を意味する。タラノア対話は政府だけでなく企業、自治体、研究機関、NGOなどあらゆる主体が参加して世界各国で展開されている。パリ協定で定められた二〇五〇年までの削減目標を達成するため、世界全体の温室効果ガス排出削減の取り組み状況を確



グループディスカッションを展開

技能者の確保・育成へ

国土交通省と厚生労働省は建設技能者の確保・育成に向けた取り組みを推進するため、平成三十一年度予算の概算要求をまとめた。入職・定着促進の取組を、広報・教育(効果的な広報活動や環境・防災教育の取組)の四部門からなる表彰式では二〇一八年

「単独受賞では唯一の民間企業としてたいへん誇りに思う。下水道界の発展に全社一丸となって尽力していく」と喜びを語った。

受賞団体・件名は次のとおり。

- グランプリ 岐阜県恵那市「誰もが利用できるマンホールトイレに向けて」
- インベーション部門 大阪府大阪市「国内初! アナモックス反応を利用

恵那市、管清工業など表彰

国土交通省は九月十日、東京・霞が関の同省共用会議室で平成三十年(第十一回)国土交通大臣賞「循環のみち下水道賞」の表彰式を開催した。グランプリは岐阜県恵那市、企業関係は管清工業(株)(長谷川健司社長)がアセットマネジメント部門で入賞した。



石井国交相 長谷川社長

同賞は健全な水循環や資源・エネルギー循環を生み出す優れた取り組みを表彰。インベーション(新しい価値の創造に貢献する取組)、レジリエント(強靱な社会の構築に貢献する取組)がアセットマネジメント(事業の持続に貢献

した脱水分離液窒素除去施設」 岡山県倉敷市「くらのほ国内初! 管路外設置で下水熱利用」

- レジリエント部門 東京都「下水道事業におけるデマンドレスポンスの取組」 大阪府高槻市「水害・土砂災害ハザードマップを活用した防災マイマップ作り」
- 広報・教育部門 北海道芦別市/星椋国際高等学校「行政と高校がコラボした下水道PR」
- 大阪府立泉陽高等学校「高校生と堺市上下水道局とのコラボレーションによる下水道学習」

信する日本版タラノア対話プラットフォームとしてタラノアJAPANを立ち上げた。十二月に開催されるCOP24で日本の経験やビジョン(ストーリー)を全世界に発信していく。

当日のワークショップには企業関係者など約六十名が参加。伊藤賢利同省地球温暖化対策課国民生活対策室長があいさつに立ち「当初の予想を超える多くの皆さまに参加していただいた。関心の高さがうかがえるようにたいへん嬉しく思っています。パリ協定で合意された目標の達成へ皆さまと

共に進んでいきたい。地球温暖化が進めば猛暑や台風の襲来など自然災害のリスクは一段と高まっていく。気候変動対策に貢献する脱炭素経営が広く普及するよう皆さまのご支援ご協力をお願いする」と述べ、積極的な取り組みを促した。

このあとタラノア対話とタラノアJAPANの概要を説明し、石田建一積水ハウス(株)常務執行役員環境推進部長が自社の具体的な取り組みを紹介。またタラノア対話体験としてグループディスカッションや個別相談会を繰り広げた。

革を着実に実行し、魅力ある職場環境を整備することが極めて重要だ。このため女性活躍の推進などに一億円を計上。また事業主などへの助成金として五十八億四千万円を投入する。若者育成では建設労働者緊急育成支援事業などに九億二千

万円を注ぎ込み、中小事業主を支援する方針だ。魅力ある職場づくりでは働き方改革に一億二千七百万円、時間外労働等改善助成金に六十二億九千万円、働き方改革推進支援センターに七十四億八千万円など技能者の処遇改善に力を入れる。

高効率を追求するテラル

テラルの新コンセプト「Triple e」による

キャビネット型加圧給水ポンプユニット






省スペース



静音



省電力



優れた施工性

25%* 設置面積 業界最小!

ダウン(当社比) (2017年4月現在 当社調べ)

- 屋外設置可能
- 充実の標準装備

- 低振動
- 安心・安全機能

新発売

推奨末端圧力一定給水ポンプユニット

CXV型

テラル株式会社
www.teral.net

本社 / 〒720-0003 広島県福山市御幸町森脇230
TEL.084-955-1111 FAX.084-955-5777

東京支社 / 〒112-0004 東京都文京区後楽2丁目3-27テラル後楽ビル6階

東京・大阪など
全国9支店、
47営業所